

## 18-9 資本が外国に送られるとすれば **重要!!**

「資本が外国に送られるとすれば、それは、資本が国内では絶対的に運用されえないからではない。…この資本は、就業労働者人口にとっては、またその国一般にとっては、絶対的に過剰な資本である。この資本は、そのようなものとして、相対的過剰人口と並んで存在する。そして、これは、この両者が相並んで存在し、しかもたがいに制約し合っている一つの例である。」(大月版『資本論』第3巻 第1分冊 ④ P315F6-9)

現在の日本では、グローバル資本をコントロールして、富の「資本」としての運用をやめさせなければ、産業の空洞化は止められない。

※「19. 恐慌」の「19-4 資本主義的生産の「健全な」運動に対応する諸関係が回復するのは」の続き、19-5と同一の文章。